

### 3年保健体育 (MYP 4 Physical & health education) 【保健体育：3単位】

#### 科目のねらい

MYP保健体育の指導と学習のねらいでは生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・ 探究的手法を使って、保健体育の概念について探究すること
- ・ 様々な状況に効果的に参加すること
- ・ 身体活動（運動）の価値を理解すること
- ・ 健康的なライフスタイル（生活）を実現し、維持すること
- ・ 効果的に他者と協働し、コミュニケーションを図ること
- ・ 他者と建設的・肯定的な人間関係を構築し、社会的責任を行動で示すこと
- ・ 自身の学習経験を振り返ること

#### 目標および評価基準

評価基準	目標
A：知識と理解	i. 「保健体育」に関する、事実に、手続き的、概念的知識を説明すること
	ii. なじみのある、あるいはなじみのない状況において設定された問題を分析し、解決するために、「保健体育」に関する知識を応用すること
	iii. 「保健体育」の専門用語を効果的に使用し、理解していることを示す
B：パフォーマンスの計画	i. パフォーマンスの改善に向け目標を作成すること
	ii. 身体能力と健康を改善するための計画を設計、説明し、その根拠を示すこと
C：応用と実践	i. 幅広いスキルや技術を効果的に示し、応用すること
	ii. 幅広い戦略や動きの概念を効果的に示し、応用すること
	iii. 効果的なパフォーマンスに必要な情報を分析し、応用すること
D：パフォーマンスの振り返りと改善	i. 対人スキルを高めるための戦略を説明し、示すこと
	ii. 計画の有効性を、その成果に基づき分析し、評価すること
	iii. パフォーマンスを分析し、評価すること

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「Physical and Health education guide」に基づいています。

※目標と評価規準は、MYP保健体育 year5のものを使用しています。

関連概念（保健体育の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

適合	選択	バランス	エネルギー
環境	機能	交流・相互作用	動作
視点・観点	改良	スペース	システム

#### 年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題の MYP 評価基準（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. Change(変化) 2. Orientation in space and time (空間と時間) 3. 振り返りスキル。批判 的思考スキル、情報リテ ラシースキル	A. 体づくりの運動 (ア. 体ほぐしの運動・イ. 体力を高める運動)	評価規準 B (個人) 準備運動を作成するにあたっての学習計 画を立てて、進捗や活動を分析・自己評 価しているかを評価する。 評価規準 D (個人) 成果物の評価基準に照らし合わせて、作 り上げた準備運動を振り返り、そこに用 いた準備運動の知識 (体の構造や運動の 原則、) について説明する。	1. ② 学びに向かう 力-D ③ 思考・判断・表 現-B 2. C-15

	2	1. Perspective(ものの見方) 2. Scientific and technical innovation (科学的・技術的革新) 3. コミュニケーションスキル・協働スキル	C. 陸上競技 (ア. ハードル走 イ. 走り高跳び) ※雨天時は走り高跳び H. 体育理論にかかわること	評価規準 B (個人) より良いハードリング動作となるように、自己の状況を分析し、効果的な目標の設定と練習計画ができているかを評価する。 評価規準 C (個人) スムーズなハードリング動作ができているかを評価する。	1. ①知識・技能-C ③思考・判断・表現-B 2. A-5
	3	1. Communication(伝達) 2. Identities and relationships (アイデンティティと関わり合い) 3. 協働スキル、創造的思考スキル、情報リテラシースキル	E. 球技 (ア. ハンドボール) H. 体育理論にかかわること	評価規準 A (個人) ハンドボールの技術、行い方をまとめているかを評価する。 評価規準 D (個人) グループの戦術を評価し、レポートにまとめているかを評価する。	1. ①知識・技能-A ②学びに向かう力-D 2. C-12
後期 (10月～3月)	4	1. Change(変化) 2. Orientation in space and time (空間と時間) 3. コミュニケーションスキル・批判的思考スキル	F. 器械運動 (ア. 跳び箱) H. 体育理論にかかわること	評価規準 C(個人) 自分の技術にあった跳び箱の技と高さを選択し、動画で撮る。 評価基準 D (個人) 自分の技術を振り返り、また、技術を高めるために必要な要素とそのため必要な支援のあり方について振り返る。	1. ①知識・技能-C ②学びに向かう力-D 2. B-7
	5	1. Relationships(関係性) 2. Personal and culture expression (個人的・文化的表現) 3. 整理整頓スキル・協働スキル・情動スキル	G. ダンス (ア. 創作ダンス) H. 体育理論にかかわること	評価規準 B (個人) より良い創作ダンスとなるように学習計画を立て、効果的な目標の設定と練習計画ができているかを評価する。また、自己の計画を的確に振り返っているかを評価する。 評価規準 C (グループ・個人) テーマにふさわしい作品をつくり、まとめ、表現しているかを評価する。	1. ①知識・技能-C ③思考・判断・表現-B 2. C-15
	Unit外	1. Communication(伝達) 2. Orientation in space and time (空間と時間) 3. 協働スキル、批判的思考スキル	E. 球技 (イ. バレーボール) H. 体育理論にかかわること		2. A-3
通年	6	1. Communication (関係性) 2. Globalization and sustainability (グローバル化と持続可能性) 3. コミュニケーションスキル、情動スキル	H. 保健・体育理論	評価規準 A (個人) 「筆記テスト」保健で得た知識をいろいろな形式で表現し、学んだ知識を筆記テストでアウトプットする。	1. ①知識・技能-A 2. A-2 C-11、C-18